

環境配慮型コンクリート構造物設置後の機能変化に関する調査研究委員会 2009 年度報告会 議事録

1. 日時

2010 年 1 月 29 日（金）10 時 00 分～12 時 00 分

2. 場所

徳島大学工学部建設棟 3 階セミナー室 A303

3. 出席者

徳島大学 上月教授，水口教授，橋本教授，渡邊助教，真田助教，山中講師，石田助教

香川大学 増田教授

高知高専 横井准教授

国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所 川崎所長

開発コンクリート株式会社 水環境室 田中室長，山田課長，葛西係長

株式会社エコー建設コンサルタント 技術監査部 技術開発課 飯山課長代理

株式会社四電技術コンサルタント 土木技術部 設備マネジメントグループ 三浦次長，
環境部 環境調査グループ 甲斐主任

新構造株式会社 技術本部 技術部 下田部長

株式会社セイア 企画開発室 本田

4. 要旨

1) 新しい委員の山中講師，下田部長の自己紹介

2) 各 WG の活動報告

5. 詳細内容

5.1 各 WG の活動報告（敬称略）

(1) 景観 WG（報告：真田）

- ・コンクリート護岸の弱点を述べる。
- ・直線的な所が隠れていたら，景観としていいのではないか。
- ・ポーラスコンクリートと石積みは何が違うのか。
- ・ポーラスコンクリートを使い，植物が付かない場所（壁等）に付いていると景観としては不自然。
- ・ポーラスコンクリートは早い段階でエイジング（汚れ）する。
→しかし汚れでもフライアッシュを使って色が黒っぽくなる場合は汚いと言われる。

- ・護岸で上部の緑化で植物が垂れていることで直線が隠れるのが良い。
- ・コンクリートブロックでの景観で化粧型枠は、規則性がないようであるので不自然である。
- ・詳細は景観 WG 議事録を参照。

(2) 緑化 WG (報告：飯山)

- ・どういう所、何のためにポーラスコンクリートを行うのか。
- ・ポーラスコンクリートを使う場所は、裸地では困るが草刈り等管理しなくていい場所。
- ・各場所に対して〇〇が良いというのがいいのではないか。
→これがダメ、あれがダメではなく
- ・詳細は緑化 WG 議事録を参照。

(3) 気温調整 WG (報告：渡邊)

- ・緑化による温度低下。
- ・測定方法を考えないといけない
- ・表面温度と気温の関係。
- ・色で温度変化はどうか。
- ・気化熱を測定する方法はないか。
- ・詳細は気温調整 WG 議事録を参照。

(4) 物性劣化 WG (報告：橋本)

- ・ポーラスコンクリートには十年でひび割れが起こらない。
→水がない。
→鉄筋がない（これが劣化しない一番の理由だと考えられる）。
- ・ポーラスコンクリートに対する植物の根の影響はどうか。
→植物が腐って堆肥になって発生する酸等で劣化しているのではないか。
→根酸より落ち葉が腐って堆肥になって発生する酸の方が強い。
- ・ポーラスコンクリートの水によるウォッシュアウトによる劣化。
- ・海洋環境による化学反応による劣化。
- ・来年度で 10 年経過したポーラスコンクリートを試験する予定。
- ・詳細は物性劣化 WG 議事録を参照。

6. 次回委員会予定

- 3月中旬以降に各 WG で予定を決める。